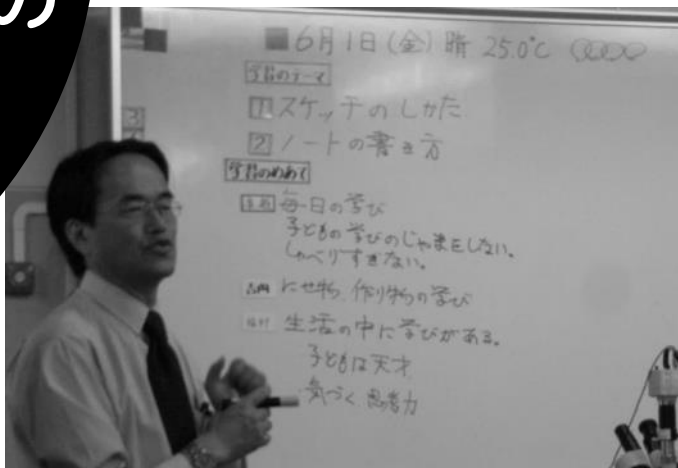


【参考資料】 平成24年度の記録

2年前の研修では、女子大附属小の谷岡先生の理科学習の進め方について教えていただきました。

以下は、平成24年6月1日(金)の記録の一部です。

理科学習の 進め方



谷岡先生がどのように授業を進めておられるのか、参加者を相手に実際の授業のように進めていただきました。

子どもと共に進める

日付と天気、気温。そして名前

授業の前に必ずノートに書かせる。

気温は一年続ければ、それだけで年間の気温の変化のグラフが書ける。

名前は、自分のノートに責任を持たせる意味で書かせる。

学習のテーマ

前時の授業の流れを大切にする。

新しい単元の場合は教師が提示することも。

新しい単元に入る前には予告などをしておく。→独自学習につなげる

学習のめあて

自分の言葉で書かせる。文章で書く。(3年生なら3行は書く。) 名前カードを黒板に貼り指名する。

指名されたらノートに書いていなくても発表する。

(すぐに言えない子は教師との会話の中でめあてを見つけさせる。子どもを追い込むことはしない)

※名前カードは、授業終了後に全員の分が貼ってあるようにする。

相互学習

独自学習で調べてきたことを発表し合いながら、情報を整理していく。

ひとりの学びをみんなの学びへ。

挙手した子どもが発表する。約20分ほど使う(2時間続きの場合)。

生活を学習につなぐための話し合い。

※独自学習

テーマについて参考書や辞書、図鑑で調べてきたことを発表する。

この情報が知的な相互学習へとつながる。

これから学ぶ内容も出てくるが、だからといって全員が理解しているわけではない。

もう一度確認する意味でも、全員で学習することが必要になってくる。

観察(実験)

自分の課題を持って取り組ませる。教師が与えない。

例えば→「モンシロチョウの幼虫を観察して、」までしか黒板に書かずに

その後を自分で考えさせる。

予想

観察にも予想が必要。 **結果** **考察** **ふりかえり** と続いていく。 ※今回の研修では省略。

○ この学習の流れを、4月5月に覚えさせ、6月頃からは、子どもたちが進行する。

※進行 → 理科係 板書 → 今日の日直・明日の日直(4名)

※教師はなるべく口を出さなくて、後ろで見守っている。

○ 理科の学習は、理科室で。

○ 映像を使える環境を整える。

